

Introduction

# ISSUES of Sustainable Development

過密化する地球、急拡大するサイバー社会における  
人類が乗り越えていくべき「課題」





## 地球環境問題の深刻化

約70億人の人類が、地球に与える環境負荷は地球1.5個分。人口が84億人となる2030年には、その負荷は地球2個分に増大する見込みです。かけがえのない地球のキャンペーンは、無尽蔵ではありません。

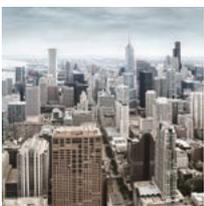
富士通グループは、ICT<sup>(注1)</sup>を活用し、社会全体の温室効果ガスの削減、自然資本の保全などに取り組んでいきます。



## 食糧・エネルギー需要の拡大

世界では8人に1人が栄養不足に、9人に1人が水ストレスに苦しんでいます。2030年までには、バイオ燃料の増産に加え水不足も深刻化するなか、50%の食糧増産(2008年比)が求められています。

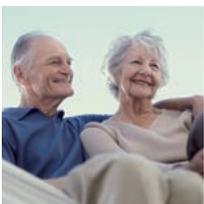
富士通グループは、様々な需給マネジメントや農業などの新分野で、革新的なICTの活用を進めていきます。



## 都市化に伴う社会問題の増加

世界には人口1,000万人以上の都市が28あり、100万人以上の都市は約500存在します。2030年には都市人口の比率は60%に増加し、交通渋滞、大気汚染、エネルギー管理など、課題はさらに深刻化していきます。

富士通グループは、膨大なデータをICTで解析することで、これらの連鎖した課題の解決に貢献していきます。



## 世界的な高齢化の進展

世界の60歳以上の人口比率は、日本が30%、先進国平均が20%、途上国平均が9%。2030年にはそれぞれ37%、29%、14%に達する見込みで、医療・介護、社会保障などの問題にいち早く取り組むことが重要です。

富士通グループは、日本で培ったノウハウを活かし、これらの課題の解決にグローバルに挑戦していきます。



## デジタルディバイド<sup>(注2)</sup>という問題

世界のインターネット利用者は24億人、2030年には66億人に達する見込みです。多くの人々がICTの恩恵を受ける一方、高齢、障がい、経済状況などによりICTを利用できない人々の不利益の拡大も懸念されます。

富士通グループは、誰もがICTを活用できる社会を目指し、ICT基盤の整備や端末の開発を進めていきます。



## サイバー攻撃、ネット犯罪の多発

重要なICTインフラへのサイバー攻撃は大きな脅威です。クラウドやスマートフォンの普及が進む中、世界のネット犯罪の被害者は年間5億人、被害額は1,000億ドル以上に達し、さらに増大しています。

富士通グループは、安心・安全なICT社会の実現を目指し、サイバーセキュリティへの対応を強化していきます。

富士通グループは、“ICTの3つの力”で社会の変革に挑戦していきます。

(注1)ICT: Information and Communication Technologyの略。情報通信技術。

(注2)デジタルディバイド: 情報格差。

# The Power of ICT for sustainability and beyond

「ICTの力」によるサステナビリティ課題の解決と、  
その先の、より良い社会づくり

## Human Centric Intelligent Society

人々が可能性を最大限に発揮してイノベーションを生み出し、  
安心・安全に暮らし、そして情報が新たな価値を生み出し、  
社会が持続的に成長していく世界

多様なモノや社会インフラなどあらゆるモノがネットワークでつながる時代。

一人ひとりがスマートデバイスでつながり、

クラウドを通じて知見を得ることができるようになった今、

ICTは、人を中心にした、ヒューマンセントリックな時代を迎えました。

富士通グループは、これらデジタルワールドに集まる膨大な情報を

「人の活動」を起点にリアルタイムに分析し、新たな知恵を生み出すことで、

社会に変革をもたらします。

そして、「ICTの力」を様々な社会課題の解決に立ち向かう人々の  
行動や意思決定に役立てていきます。

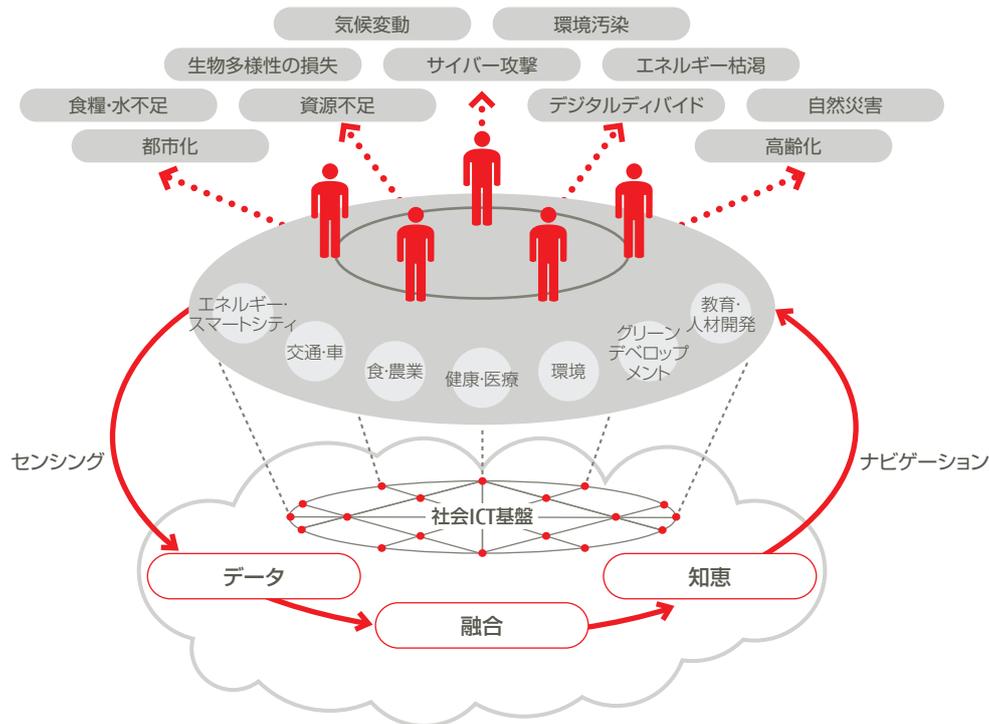


# 未来を切り拓く力

## コンピューティングにより世界の難問・社会的課題を解決

- 一歩でも未来に近づく、世界トップのテクノロジー・リーダーシップの発揮
- 課題解決型ソリューション(食・医療・教育など)の提供拡大
- 環境ビジョンの達成 ~低炭素で豊かな社会~

### 「未来」を切り拓く仕組み



人々や社会の営みを「<sup>データ</sup>情報」として捉え、  
直面する課題を克服する、新たな「<sup>インテリジェンス</sup>知恵」の創造へ。

家庭や仕事場、社会など様々な場所で生まれる情報、スマートデバイスやセンサーからネットワークを介して集まる情報。これらの情報は、人々や社会の営み、状態をリアルタイムに映し出しています。これらの膨大なデータを強力なコンピューティングで分析することで、人々の意思決定を支援したり、社会課題の解決を可能と

する新たな知恵が創造されます。ICTの力で一歩でも未来に近づき、イノベーションにより世界の難問の解決に挑戦したい。富士通グループは、「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」の実現を通じて、環境、エネルギー、交通、食糧、健康、医療など様々な社会課題の解決に貢献していきます。

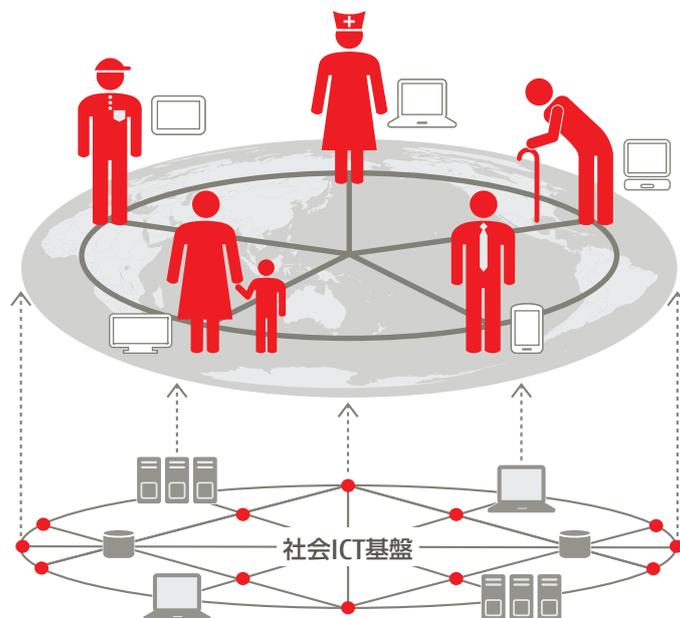


# 全ての<sup>チャンス</sup>の人に機会をもたらす力

使いやすい端末・インターフェース、途上国へのICT導入を促進する仕組みづくり

- 急拡大するネットユーザーを見据えた端末・機器の開発
- グローバルな機会提供型ビジネスの実践
- 開発途上国向けフィールド調査、パートナーシップの展開

## ICTのメリットを享受できる環境づくり



世界中のすべての人々が、ICTを自由に利活用できる社会へ。  
人々の絆を深め、知恵やノウハウを共創していく社会へ。

インターネットの普及により、誰もが新たな情報・知識を手軽に得られるようになりました。またスマートデバイスは、ショッピングからビジネスに至るまで、私たちに様々な情報を提供してくれます。その一方で、ICTを十分に使いこなせない高齢者や、インフラが未整備な途上国の人々は、情報格差による機会の喪失に悩んでいます。

ICTの力で人々をつなぎ支え、世界の70億人の人々に機会をもたらしたい。富士通グループは、一人でも多くの人々がICTの活用により自己の可能性を追求できる社会の実現に向け、わかりやすく使いやすいインターフェースの開発や通信インフラの整備など、ICTの普及を促す仕組みの創出に努めています。

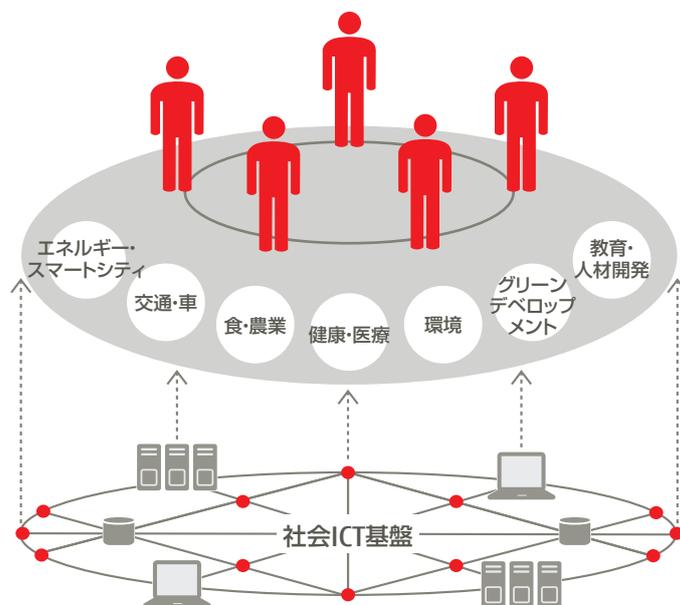


# 安心・安全な暮らしを支える力

## ICT社会インフラの安定稼働と、サイバーセキュリティ

- あらゆるものがネット接続する時代を見据えた、価値創造基盤の構築支援
- 世界トップクラスのICTシステムの安定稼働を実現
- サイバーセキュリティソリューションの展開強化

### ICTが支える社会基盤



### 事故や災害、サイバー攻撃にも耐えうる 堅牢で信頼性の高い“社会ICT基盤”。

ICTは、人々の暮らしを、産業・社会を、そして世界を守る力でありたい。

ICTは社会の隅々に行きわたり、エネルギー、交通、金融、医療など、私たちの生活を支えています。一方で、ICTシステムは年々複雑化し、事故や災害、予期せぬトラブルなどにより、社会に大きな影響を与える事象も散見されます。またインターネットにより社会の利便性が大きく向上する一方で、ICT社会の“影”と呼ばれるネット犯罪

の増加や重要インフラへのサイバー攻撃などが、国際社会でも大きな脅威となっています。ICTの力で社会のインフラを守りぬき、安心・安全な暮らしを支えたい。富士通グループは、クラウド上のセキュリティ監視や、生体認証装置など、最先端の技術で、人々の暮らしを、産業・社会を見守り続けます。